

対立する人々を団結へと導くスポーツの不思議な力

坂口 真康 (筑波大学大学院 / 共生教育学)

インビクタス / 負けざる者たち

(原題 : Invictus)

- ◆ 種別 : Blu-ray Disc (映画)
- ◆ 監督 : クリント・イーストウッド
- ◆ 製作年 : 2009 年
- ◆ 製作国 : アメリカ合衆国 / 南アフリカ共和国
- ◆ 販売元 : ワーナー・ホーム・ビデオ
- ◆ 税込価格 : ブルーレイ ¥2,500 / DVD ¥1,500
- ◆ 時間 : 本編 133 分
- ◆ 音声 : 英語 / 日本語
- ◆ 字幕 : 日本語 / 英語 / 日本語吹替用字幕



あらすじ

1994年に初代新生南アフリカ共和国(以下、南ア)大統領に就任したネルソン・マンデラは、アパルトヘイト(人種隔離政策)により分断された異なる人種集団の人々を団結させるために、南アで開催されるラグビーのワールド・カップを活用したキャンペーンを展開する。専門家の前評判がそれほど良くなかった南アのラグビー代表チーム(愛称: スプリングボックス)は、マンデラの想いを汲み取ったフランソワ・ピナール主将のリーダーシップのもとに快進撃を続け、ついにはワールド・カップ決勝の舞台に駒を進めることとなる。

本作品は、1995年に南アで開催されたラグビーのワールド・カップにおけるドラマのような実話を基にした映画である。

シーン再現

<ワールド・カップ決勝戦終了後、グラウンドで優勝杯授与式が行われる場面>

インタビュアー : (ピナール主将に対して) 見事だった。ここにいる観客の皆さん、6万3,000人の応援のおかげですよ。

ピナール : 6万3,000人の応援ではありません。南ア国民、4,300万人の応援のおかげです(優勝杯授与式のために壇上へ上がり、マンデラ大統領と握手する)。

マンデラ : 諸君の貢献に心から感謝する。

ピナール : 祖国を変えて下さった大統領のおかげです。



本作品で中心的な役割を演じている南アフリカ共和国（以下、南ア）のラグビー代表チームであるスプリングボックスは、アパルトヘイト体制下の抑圧者集団の象徴的な存在と見なされていた。そのため、新生南アにおいて同チームは、過去に抑圧されていた集団に属する人々からなかなか支持を得られなかった。そのような中マンデラ大統領は、抑圧者集団に属した人々を赦し、

和解することの重要性について人々に唱えてまわると同時に、自らを和解の象徴として提示していった。ワールド・カップ決勝の舞台においてスプリングボックスのジャージーを身にまとい、スプリングボックスの選手たちとかたい握手をかわす姿は、和解という観点から、特に象徴的な提示の仕方の1つであった（cf. トンプソン 2009, pp.468-469）。

ワールド・カップなどのスポーツの祭典を通じた経験は一過性のものであるという批判もなされるが、たとえそうであったとしても、マンデラが述べたように、スポーツが人々の「団結と和解のための大きな力」（Nelson Mandela, edited by Sello Hatang & Sahm Venter, *Nelson Mandela By Himself: The Authorised Book of Quotations*, MacMillan in Association with PQ Blackwell, 2011, p.255）となっていることに変わりはない。試合が終われば、人々はまた別々の道を歩むかもしれない。しかしそうであったとしても、スポーツが営まれている時間に共有された他者との直接的あるいは間接的な団結の経験は一強弱はあれど一人々の記憶の中に刻み込まれ、次に出会うであろう他者との団結を後押しするホイッスルとなりうる。

南ア出身の国際オリンピック委員であるサム・ラムサミー理事が「各国政府はスポーツがもつ教育的効果にもっと注目すべきだ」（『朝日新聞』2013.6.2 朝刊）と述べるなど、ラグビーのワールド・カップを経験した南アでは、人々の団結を促進するためにスポーツが果たす役割に対する期待は現在も大きい。南アの人々がスポーツの「教育的効果」に期待するようになったきっかけの一場面を躍動的に再現し、言葉だけでは埋めることが困難な溝を抱えている人々を団結へと導いてしまうスポーツの不思議な力を余すことなく表現しているのが、本作品である。

「スポーツは団結と和解のための大きな力となる」

Information

【原作】ジョン・カーリン（著）八坂ありさ（訳）『インビクタス～負けざる者たち～』日本放送出版協会、2009年。

【書籍】阿部利洋『紛争後社会と向き合う——南アフリカ真実和解委員会』京都大学学術出版会、2007年。レナード・トンプソン（著）宮本正興・吉國垣雄・峯陽一・鶴見直城（訳）『南アフリカの歴史【最新版】』明石書店、2009年〔原著2000年〕。峯陽一（編）『南アフリカを知るための60章（エリア・スタディーズ79）』明石書店、2010年。